6/30に話し合おう

重い障害をもつ人の暮らしを支えるには

テーマ　障害のある人のおかれている暮らしを考える

障害の重い人の現実

その１　99%は年収200万以下
2人に1人は相対的貧困

その２　6割弱が親と同居

その３　低収入ほど社会と遠ざかる

その４　親の高年齢化と暮らしの場問題

「障害者の暮らしの場」学習会

日時　２０１３年６月３０日（日）
１３：３０～16：30

会場　松戸市ふれあい２２
〒270-2218 松戸市五香西3-7-1電話:047-383-0022

講師　澤田　透氏
（埼玉県みぬま福祉会太陽の家にじ施設長）

参加費　無料

障害のある人のきわめて貧しい収入、家族に依存した介護による毎日は、ギリギリの生活になっています。親・障害のある人の高齢化問題もあります。親など家族がいなくなってしまえば、途端に生活を維持できなくなる状況です。

障害があっても市民として尊重され、それぞれのライフステージを誇りを持って暮らしていくためには、どうしたらいいか、ともに考えあいましょう。

全国障害者問題研究会千葉支部
きょうされん千葉支部共催

連絡先　TEL047-434-1060　伊藤（全障研千葉支部）
TEL043-252-3810　あやめ　菊地（きょうされん千葉）